



# 碧南ロータリークラブ週報

第2380回例会 平成19年10月10日(水)

● 会長 鈴木 敏弘 ● 幹事 石橋 嘉彦 ● 会場監督 新美 宗和 (SAA)

■ 例会日 毎週水曜日 12:30

■ 例会場 碧南商工会議所ホール

■ 事務局 碧南商工会議所内

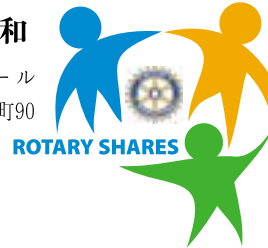
〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町90

TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100

ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp/>

E-mail: [info@hekinan-rc.jp](mailto:info@hekinan-rc.jp)

■ 会報委員 新美 惣英・長田 和徳・平岩 辰之・杉田 茂



2007~2008年度  
国際ロータリーのテーマ

ロータリーは  
分かち合いの心

## ● 斉 唱

ロータリーソング「我らの生業」

## ● 職業宣言

杉浦春彦

## ● 本日のメニュー

和風弁当 大正館



鈴木敏弘会長

## 会 長 挨拶

十月に入りめっきり秋らしくなってきました今日この頃であります。

先週のガバナー補佐訪問には会員の皆様のご出席を頂き無事終る事が出来まして、ありがとうございました。例会終了後クラブ協議会には役員理事そして各委員長さんには、本年度の事業計画を発表して頂き金子ガバナー補佐はこの結果をよくガバナーに報告しておきますからと言われ、帰られました。私自身皆様のお陰で大変よく出来たクラブ協議会であったと思えました。誠にありがとうございました。

来週はガバナー公式訪問です。本年は一色クラブがホストされますので1日おくれの木曜日18日でございます。お間違えのないよう御出席頂きますようお願い致します。

さる10月1日第2回碧南市制60周年記念事業実行委員会が開催され出席致しました。

当クラブより私の他5名の皆様も各団体を代表され出席されて見えました。基本構想は碧南市が平成20年で市制60周年を迎えこの節目の年にあたり記念事業を市民と行政が一体となった実施する事が目的であります。その事業として5つのプロジェクトが出来、記念事業が展開されるそうです。実施期間は平成20年4月～平成21年3月です。

5つのプロジェクトは

- ①花咲かプロジェクト(花いっぱいイベント関係)
- ②元気ッス!プロジェクト(健康・スポーツ関係)
- ③水水(スイスイ)プロジェクト(海川湖・水関係)
- ④楽芸(ラクゲイ)プロジェクト(文化芸能関係)
- ⑤地区地区(チクチク)プロジェクト(各地区おこし)

各プロジェクトではイベント部会で具体的に事業案が出ていましたが、今から協議し各プロジェクトどうしでお互い連携し企画をフォローしあって決められるそうです。行政と市民による大きな記念事業になると存じます。市民は外に呼び掛け碧南市をアピールする事が大切な事であると言っていました。

以上、本日は会議の報告で挨拶にかえさせていただきます。

本日も宜しくお願い致します。

## 幹事報告

- 他クラブの例会変更等は幹事報告書の通りです。
- 本日例会終了後 201 号室にて第 4 回理事会開催  
役員、理事の方々には出席宜しくお願ひします。
- 次週10月17日（水）は振替休日、次週例会は10月18日（木）ガバナー  
公式訪問で一色RCのホストによる合同例会12時20分～碧南商工会議所にて開催
- 次週幹事報告は理事会決議報告も含め報告書の配布をもって報告にかえさせていただきます。
- 金子ガバナー補佐から訪問のお礼状が届きました。
- 次々週例会10月24日(水)はインフォーマルミーティングの為17：時00分より碧南商工会議所にて開催。



石橋嘉彦幹事

## 米山記念奨学委員会

委員長 池田弘孝君



今月は米山月間であります。

本日の卓話の講師を御紹介いたします。

大西弘高氏

地区米山記念奨学委員長

名古屋東南クラブ今年の会長

株式会社大西熱学中部支社代表取締役副社長

本日は大西さんの前座を勤めさせていただきます。皆様のお手元に米山奨学事業が40周年を迎え豆辞典が装い新たになりましたのでお届けいたしました。8月23日米山委員長セミナーで、寄付の意義「理解から感謝へ」というお話がありました、カウンセラーを経験すると良くお分かりいただけるかと話されました。当クラブはカウンセラーの経験クラブですのでご理解いただけると思います。平成13年14年カウンセラー杉浦昇様

いずれにしても米山記念奨学会を理解して頂き寄付をお願いいたします。

先輩ロータリーアンから、寄付だから強制的であってはいけないので心しておくようにと注意がありました。今までの委員長さんが努力されまして当クラブは常に地区内では上位を維持しています。先日、米山奨学会の本部に当クラブの会員個人別の寄付の状況を問い合わせたらすぐファックスで送ってくれました。結果は井上先生、吉井先生の他は名簿順に上手く寄付を頂いております。できれば両先生に継ぐ方が出ていただくことを期待いたしております。今年度も宜しくお願い申し上げます。そこでいろんなことを踏まえて今年度は平成10年までに入会された方々に寄付のご意向をお伺いしたいと思っておりますので宜しくお願い申し上げます。9月24日に米山学友会の総会に出席いたしました。当クラブがカウンセラーした学生は一人も出席していませんでしたが学友会の皆さんは親しみ安く、いろんな話を聞くことが出来ました。

当クラブ昨年の実績

	普通寄付	380,000円
	特別寄付	156,000円
	功労者寄付	1,150,000円
	合計	1,686,000円
	一人当たり	21,896円
	地区平均	13,924円
一位クラブ	名古屋名東	45,288円
個人一位	坂本 精志氏	1,510万円(累計)

## 委員会報告

### 〈出席奨励委員会〉

総会員数 80 名（内出席免除者 12 名）出席者 66 名

出席対象者 59 / 68 名 出席率 86.76%

欠席者 14 名（病欠者 0 名） 前々回修正出席率 100%

※三週連続出席率100%の場合は記念品を差し上げます。

### 〈ニコボックス委員会〉

地区米山奨学会 碧南RCさんには、米山奨学事業に対し、ご支援、ご協力大変ありがとうございます。  
委員長 大西弘高君 うございます。

池田 弘孝君 ①地区米山奨学委員長大西弘高さんをご紹介いたします。  
前座を少し務めさせていただきます。

②春さんに（石川春久さん）高校野球の予想を聞いていながら、孫が出場する  
高校野球愛知大会決勝をゴルフで見に行けず、翌朝のいろんな新聞を買い漁っ  
ていました。

鈴木 敏弘君 } 先週のガバナー補佐訪問ご苦労様でした。各委員長様にはクラブ協議会に出席  
石橋 嘉彦君 } していただき心より感謝申し上げます。

平岩統一郎君 色々、有りました。

新美 真司君 秋季大会、豊田大谷が名電を倒し優勝しました。東海大会で2勝して、甲子園  
を目指します。

平松 太君 先週金曜日、良い人とうまい食事をする事が出来ました。昨日も良い事が有  
りました。

## 卓 話

みなさんこんにちは。今年度の米山の地区の委員長を仰せつかって  
おります。大西でございます。

今委員長の池田弘孝さんから、同じ名前だということで因縁がある  
ということで、エレクトと話をしておりましたら来年は碧南ロータ

リーさんは50周年を迎えるということで、東南ロータリーは40年なんですけども、ところで何月  
なんですか？という話を聞いたら9月だということで、伊勢湾台風の年だったらしいですね。と  
いうことは、昭和34年の9月に作られた。私の会社がですね、本社が東京にあるんですが、名古屋  
屋に営業所を出したのが昭和34年の9月1日なんですよね。出してすぐに伊勢湾台風にあって、  
大変な目にあったということをお話では聞いておりました。その辺でも因縁があるのかなという気が  
しました。

それでは、今委員長の方からお話がありましたが、碧南さんは平均寄付額というか、絶対額で  
もそうなんですけど寄付額が2万円を超えているということで本当にどうもありがとうございます。  
我が東南ロータリーは私がいるのに1万4000円いくら。日本の平均が1万4000円いくらですので、  
大体平均くらいかなということで、本当に2万円を超えるのはすごいなあと、どうやったら  
そういう風になるのか逆に教えてもらいたいなと思っている次第でございます。本当にありが  
とうございます。

それで多すぎるから減らしてもいいと思われるとちょっと困るんですけども全体的にはですね、  
だいぶ寄付金額が減ってきているというのが、日本全国では現状でございます後ほどお話致し  
ますけども、20億から15億くらいに減っている、それを何とか増やさなくちゃいけないというの  
が現状ですので、なんとかあの、増やしてくれとは言いませんが、現状維持でこれからもご支援  
ご協力いただければありがたいなと思っております。



それではですね、米山奨学事業の現状をお話したいと思うんですけども、先日、米山の本部でですね、各ロータリアンに米山のことを知っていますか？というアンケート調査を行ったところ5人に1人が米山って何ですか？っていう人がいると。ロータリアンでですね。これではやはりこれからの米山の発展が無いということで、各地域の委員長、副委員長は米山をもうちょっと宣伝してくれということをお願いしまして、そのお陰で今年はこの卓話を頼まれたら断らないで必ず行くという事で各委員一所懸命やっております。私も5箇所回る格好になっております。

それでは、新しい方もいらっしゃると思うので、古いクラブですので、ほとんどの方が米山の事をよく知っていると思うんですけども新しい方もいらっしゃるの、米山奨学事業とはということからお話をさせてもらいたいと思います。

米山奨学事業というのは名前の通り、東京ロータリークラブを作った米山さんの功績を記念して作った事業なんですけども米山さんというのは、ご説明の通り非常に教育に熱心な方で、その功績を生かそうということで米山さんが亡くなられて6年後に、東京クラブで発足した事業でございます。その15年後に財団法人ロータリー米山記念奨学会ということになりまして、財団法人になってからはちょうど今年で40年、創立からは55年経ってるわけですね。現在は109カ国、13902名、豆辞典の方にも書いてあると思うんですが、109カ国、13902名の奨学生を今までに支援している。民間では日本では1番の奨学事業だと思います。

米山奨学事業の目的と使命ですね、これは十分わかっていらっしゃると思うんですが、ロータリアンの方には私、目的と使命、これを忘れちゃいけないと思うので敢えて言わせてもらいますが一言で言えば、米山奨学事業というのは、私は平和のためにやっているんだということだと思います。豆辞典にも書いてありますが、豆辞典には日本と世界、または母国を結ぶ架け橋となるような奨学生を育てるという風には書いてありますが、その通りで簡単に言えば平和の為、世界平和、日本の平和の為にやっている事業だと、私はそのことを常に頭に入れて、この米山留学生の支援にあたってはつもりでございます。

1952年に米山奨学会ができたときの発足の考え方も、東京ロータリークラブで数人の方が作られたんですが1952年の時代に、やはりこれからの日本の経済が発展していくには、東南アジアの方々に日本は絶対に戦争をしないんだ、平和を愛する国だということを知らしめないと、日本の経済は発展は無いということからできたのが、この米山奨学事業ということを知っております。

ロータリー自体が、ポリオが終わったら何をするかということでロータリーがこれから働くには何が一番大事かということ平和だということをやっていますね。世界平和の為にロータリーは活躍するんだと。ロータリー財団の方の奨学生というのは、世界各国全部足しても800人なんです。年間800人の奨学生を支援している。米山奨学会は日本だけで800人の奨学生を支援しているんです。財団のほうもその800人の中から、年間70人は世界平和の為に奨学生を支援するというプロジェクトが始まっているそうでございます。毎年70人で10年間で700人、そういう世界平和の為に奨学生を支援して、そういう生徒をですね国連だとか国際機関のほうに派遣して、世界中で起こっている紛争を無くしていくのはロータリーで一所懸命やっていかなければならないということ動いているらしい。

それを読んだ時に、日本は毎年800人出しているんですけども、今までだと14000人近くの奨学生を出している。その割には、東南アジアや中国といまだにギクシャクしている。たかが14000人という風に言えるし、もう14000人も出して、そういう人たちに日本の事をもうちょっと良くとか、もうちょっと宣伝してもらえれば、もうちょっと良い環境になっているんじゃないかと思うんですけども毎年800人、米山で支援しているので、是非そういう気持ちを大事にやっているとしたいと思います。

来年の4月、面接試験をやるんですけども、今までは基本的にはお世話してくれるクラブの方

に迷惑がかからないような生徒を選ぼうということばかりを考えてやってたんですけども、今年は面接の会話の中で、日本と東南アジアの平和の為にあなたは貢献してくれますか？ということくらいを聞いて採用していきたいなと、そういう方針で来年度はやっていこうかなと思っております。

ロータリアンの方も是非、今年はこちらに奨学生はいらっしゃいませんが、奨学生に対する態度も甘やかすなということではないのですがそういう目的の為に奨学生を支援しているということ、頭に入れてお付き合い、お世話していただければありがたいなと思っております。

それでは米山の現状についてお話致します。まず財政ですが、積立金ですね、77億円の積立金があるわけなんですけども、基本積立金が50億、特別積立金が27億、合計で77億円の積立金があります。これもピーク時、1998年がピークだったんですけど、92億円あったんですけど、その92億円あったものが15億減りまして77億。その減った理由というのが、20億円くらいあった寄付金が15億円前後という格好になっております。今年の6月に締めた去年の数字も14億5000万集まったということで、これは予算通りなんですけど、その他にこれまでの積み立て金の運用でもって1億5000万くらいだったので、16億円のお金で運営しております。

当時はですね、ピークの時には、最高に多かったときは1100人の奨学生をご支援していたわけなんですけども2年前から800人に減らしているんですね。800人に減らした理由は、大体1人200万円の経費がかかるんですけども、16億しかない、800人でちょうど16億。ちょうどぴったりということで、寄付金の額で奨学生を決めるという方針に決定したそうでございます。ですから、今年の6月までに集めたのが14億5000万ですので、再来年の4月の奨学生も800人とほぼ決定しております。

愛知県ですね、今5000人くらいのロータリアンがいらっしゃるんですけども、これも参考までに聞いてもらえればいいんですが、一人1000円の寄付をしていただくと、奨学生が2人増えるという格好になっております。奨学生の数を決める方法も豆辞典に書いてありますので、細かいことは言いませんが一番大事な、一人の平均寄付額が一番影響しているのが現状でございます。

奨学生の数ですが、先ほども申しましたが、今現在では全国で800名の奨学生がおります。その奨学生の内訳を申しますと、大学生が126名、大学院生652名、地区奨励奨学生が8名、クラブ米山と申しまして大学院を卒業できなかった方をクラブと米山で支援している生徒が15名、特別米山ということで、韓国・台湾の学友会の推薦の方が2名、全体で800名となっております。

委員長の方からお話が合ったかもしれませんが、地区奨励奨学生という制度が新しくできた制度でございます、この地区で大きな大学じゃなくていい、たとえば専門学校、極端に言えば針灸マッサージの学校だとか、外国語の専門学校とか、そういう学校の生徒をですね、地区のロータリアンの意向で採用するという制度がございます。もしこのクラブでも、たとえば学校関係のロータリアンの方がいらっしゃいましたら、そこに留學生がいましたら是非地区の方に言うただければ、その方々にもその奨学金を寄付することができる。それは7万円という小額ですが、そういう制度がございますので、是非それをご利用してもらいたいなと思っております。

来年は39名、今年の採用は34名で5名増えたわけなんですけども、万博の時に余ったお金が2000万か3000万あってそのうちの1000万が米山に寄付された、残りがロータリー財団にされたという格好で、1000万の米山の寄付がこの地区からの寄付ということになったものですから、単純に5名増えているというのが現状です。今年度はそれが1000万、本当に不思議なものでぴったり減って、翌年は34名になってしまうんじゃないかなと思っております。

39名のうちの2年に継続する人が6人いますので、33名の新卒の採用をするんですけど、18の大学に74名の奨学生を推薦してくださいとあってあります。たとえば名古屋大学に8名、豊橋技術

大学に8名とか、そういう格好で受付をしている最中であります。その中で皆様の知っている奨学金がいましたら、事前に我々地区の方に言っていただければ、面接するのは、地区の役員と、ガバナー事務所のスタッフでやっております。74名来て、その中から採用されるのは33名です。そういう関係もなるべくロータリアンの意向が入るようなシステムになっておりますので、そういう関係の方がいらっしゃいましたら、是非お声をかけていただきたいなと思います。

今愛知県に米山奨学金を受けたいという留学生は1655人もいるんですね。来年4月の採用の奨学金を受けたいという留学生が1655人、その中から面接に来るのは74名、実際に受かるのは33名しかないという非常に厳しい倍率になっておりますので、是非そういう関係の方がいらっしゃいましたら、ロータリアンの意向がなるべく通るシステムになっておりますのでお申し出いただければと思います。

米山奨学制度の特色というのは、世話クラブとカウンセラー制度というのが最大の特徴になっております。この世話クラブ、カウンセラー制度というのは、奨学生にとっては私自身も本当にいい制度だと思うんですね。95%の奨学生が本当にうれしいと、文部省のやっている奨学制度というのは、今年から17万で米山では14万で3万円の差があるのですが、この3万円の差には変えがたいものがあると、ほとんどの奨学生が言っております。私もそう思います。このロータリークラブの、いろんな会社で成功している方ばかりの集まりの会に、学生としてお話ができるというのは、勉強にも変えがたい価値があると、留学生自身も本当にみんなそう思っておりますので、事あるごとに、我々が何か企画するとよく出てくるんですね。出てきて、みんなはロータリアンとお話したい、世話クラブでも一箇所だけではなくて他のクラブも行きたいというのが留学生は本音だと思うんですね。ですから、奨学生を受け入れていないクラブにもできるだけ受け入れてくださいという風をお願いしていて、なかなかまだそこまでいかないような状況なんですけども、本当に留学生はロータリアンとの接触を喜んでおりますので、ロータリアンの方には心の中に入れといていただけるとありがたいなと思います。

先日もトヨタの堤工場の見学会をあるロータリアンの紹介でやってまいりました。私もトヨタの工場のラインを見たのは初めてで、私が感動しました。トヨタのライン。写真を撮っちゃいけないということで、写真は撮れなかったんですけども、本当にあのロボットの溶接の仕方などを見てさすがトヨタはすごいなと思って、これなら儲かるわけだなと思いました。留学生も本当に感激してみている人が多かったです。

そういう会にも今年から、カウンセラーの方はよくついてくることがあるんですが、どちらかというと奨学生とカウンセラーの方という2人だけが出てくるという格好になっている、でも奨学の委員長も是非出てきてくださいと、委員長さんは同じクラブの中で留学生に対して興味のある方は出てきてくださいとお声がけを今年はやったんですが、なんと90名近い人が集まってくれたんですね。本当にロータリアンの方がいっぱい、お昼の食事の時も本当に留学生も喜んで、こんだけいっぱいの人が出てきていただけるのなら、留学生も私たちも本当に出て行かなければいけないなと本当に感謝しておりますということを言っておりました。

この次は、クリスマスの忘年会を毎年やっているんですが、是非お時間のある方は、ちょっと遠いんですが名古屋駅前のキャッスルプラザでやるんですが、是非留学生は本当にみんな頭の良いい留学生で日本語もものすごく達者ですので気軽に来ていただければ本当にありがたいなと思っております。

ただ、米山奨学委員会の方も予算が少ないので、ロータリアンの方から若干お金をいただいているんですけどもロータリアンの方がいっぱい出てきていただけると、我々も予算的に助かるという状況になっておりますのでもし興味のある方は是非出てきていただきたいなと思っております。

学友会のことをちょっとお話させていただきたいなと思います。学友会というのは、日本にも26団体ありまして、台湾と韓国にあるんですけども、愛知県の学友会というのは150人くらいが登録しているんですが、よく集まるのが30人から40人くらいの間なんです。学友会といっても大学を卒業されて、米山というのは大学時代に奨学金をもらっちゃうと、卒業して大学院に行った場合はお金もらえないんですよ。そういう方も一応学友に入っちゃうんですが、そういう方はやはり資金的に非常に大変だということになかなか集まらない。やはり日本にいる方は、大学の先生とか日本の企業で働いているかたが集まるんですがそういう方が30名から40名くらい毎年集まっています。

台湾学友会にですね、行かれたことがある方もいらっしゃるかもしれないんですが、台北東海ロータリークラブ、ここはですね、日本で奨学金をもらった学友会の方が中心になってやっているロータリークラブだそうでございます。私もまだ行ったことないんですけど、例会が日本語でやっているそうなのでもし台湾に行かれる方がいらっしゃいましたら、台北東海ロータリークラブを是非一度行ってメイクアップされるといいんじゃないかなと思います。

もう1つ台中文心ロータリークラブ、ここも日本の奨学生の学友会が中心になって作ったロータリークラブでしてここは日本語でやっているかわからないんですが、非常に日本語の達者な方がたくさんいるということでございますのでそういうことがありましたら、是非行ってもらいたいと思います。

先ほど2760地区ですね、個人平均が一番なのが名東ロータリークラブ。日本で一番のところというのが諏訪ロータリークラブ。一人平均8万1000円というすごいクラブ。2位が7万4400円、3位が7万3000円こういうクラブもあるんですね。委員長の時に是非一度諏訪ロータリークラブには行ってこようかなと思っております。どうやってこう集めているのかとちょっと知りたいなと思います。

そういうことで、碧南さんには平均金額で2万円超えるというのは本当にすばらしい会だと思います。これからも是非よろしくご支援のほどをお願いして、今日のお話の方を終わりたいと思います。ありがとうございました。

**次回例会案内 平成19年10月24日（水）  
インフォーマル・ミーティング**